

2022年4月28日

報道関係者各位

SBI いきいき少額短期保険株式会社  
[関東財務局長（少額短期保険）第8号]**<2022年6月 改正動物愛護管理法が施行>****SBI いきいき少短 “マイクロチップ” に関するアンケート調査を実施（第2回）****犬・猫のマイクロチップ装着が販売業者は義務化、一般飼育者は努力義務に  
～動物愛護の意識が高まる中、マイクロチップの装着は約3割～**

SBI いきいき少額短期保険株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：新村 光由、以下「当社」）は、“マイクロチップ”に関するアンケート調査（第2回）を実施し、600名の方から回答を得ました。

本調査は、販売用の犬・猫へのマイクロチップ装着が義務化、一般の飼育者については努力義務となる改正動物愛護管理法が2022年6月に施行されるにあたり実施したもので、2019年に続き2回目となります。概要は以下の通りです。

**【アンケート調査結果のサマリー】**

- **犬・猫飼育者におけるマイクロチップの認知率は95.2%(2019年より4.7ポイント増加)**
  - ペット販売業者へのマイクロチップ装着義務化の認知率は56.5%（別紙P.1参照）
  - 一般飼育者へのマイクロチップ装着努力義務の認知率は47.3%（別紙P.2参照）
  
- **マイクロチップ装着義務化への賛成は73.0%（2019年と比べて3.5ポイント増加）**
  - 賛成の理由で最も多いのは「迷子になったときの身元確認が容易になる」80.8%（別紙P.3参照）
  - 「動物愛護・飼育放棄の抑制につながる（75.6%）」は、2019年と比べて15.9ポイント増加（別紙P.3参照）
  - 反対の理由で最も多いのは「かわいそう」62.3%（別紙P.4参照）
  
- **現在マイクロチップを装着している飼育者は30.6%**
  - 装着のきっかけで最も多いのは「迷子になったときの身元確認が容易になる」47.4%  
「飼ったときにマイクロチップが装着されていた」は45.7%（別紙P.6参照）
  - 今後マイクロチップの装着意向が明確にある飼育者は10.1%（別紙P.7参照）

● マイクロチップで実現したら良いと思うものの第1位は「GPSがつけられる」47.3%

- ▶ 「既往歴やお薬手帳のような役目を果たす（27.7%）」は2019年と比べて6.2ポイント増加（別紙P.8参照）
- ▶ 犬と猫の飼育者で回答の差が最も開いたのは「健康管理ができる」で、犬の飼育者は40.0%、猫の飼育者は31.0%（別紙P.8参照）

◆ **マイクロチップとは**

犬や猫に埋め込むマイクロチップは、直径2mm、長さ12mm程度の円筒形の電子標識器具です。飼い主の情報と照合できる15桁の番号が記録されており、全国の動物保護センターや保健所、動物病院にて、専用の読み取り機でデータを読み取ることができます。マイクロチップは、通常より少し太めの専用の注射器で、獣医師によって犬や猫の首の後ろの皮下に埋め込みます。費用は数千円～1万円程度です。マイクロチップは全体を生体適合ガラスやポリマーで覆われているため、副作用はほとんどなく、一度装着をすれば半永久的に使用可能です。装着後はデータベースへの登録が必要です。

◆ **アンケート調査の概要**

項目	内容
タイトル	“マイクロチップ”に関するアンケート調査
調査期間	2022年2月18日～2022年2月19日
調査対象	犬もしくは猫を飼育している全国の20歳以上の男女
調査方法	インターネットリサーチ
有効回答数	600名（犬のみ飼育者300名、猫のみ飼育者300名）
実施会社	株式会社ジャストシステム

※本調査結果の百分率表示は小数点第2位で四捨五入を行っているため、合計しても100%にならない場合があります。

【会社概要】

- 会社名：SBIいきいき少額短期保険株式会社
- 会社紹介：当社は、東証プライム市場上場「SBIホールディングス（株）」のグループ会社です。「シンプルでわかりやすく」「保険料は手ごろに」という、お客様のご要望に応える保険商品を開発・提供しています。死亡保険、医療保険はシニア層を中心に、ペット保険は犬・猫の病気やケガが気になる飼い主様に、幅広く支持されています。万が一の地震に備える地震補償保険で皆様の暮らしもサポートします。
- 所在地：東京都港区六本木1-6-1
- 設立年月日：2007年7月3日
- 資本金：36,000千円
- 事業内容：少額短期保険業（販売商品：SBIいきいき少短の死亡保険、SBIいきいき少短の医療保険、SBIいきいき少短の持病がある人の死亡保険、SBIいきいき少短の持病がある人の医療保険、SBIいきいき少短のペット保険、SBIいきいき少短の地震の保険）
- URL：<https://www.i-sedai.com>

【お問い合わせ先】

SBIいきいき少額短期保険株式会社 経営企画部 企画グループ  
 TEL：03（6856）4536 / E-MAIL：[ikiiki\\_pr@i-sedai.com](mailto:ikiiki_pr@i-sedai.com)

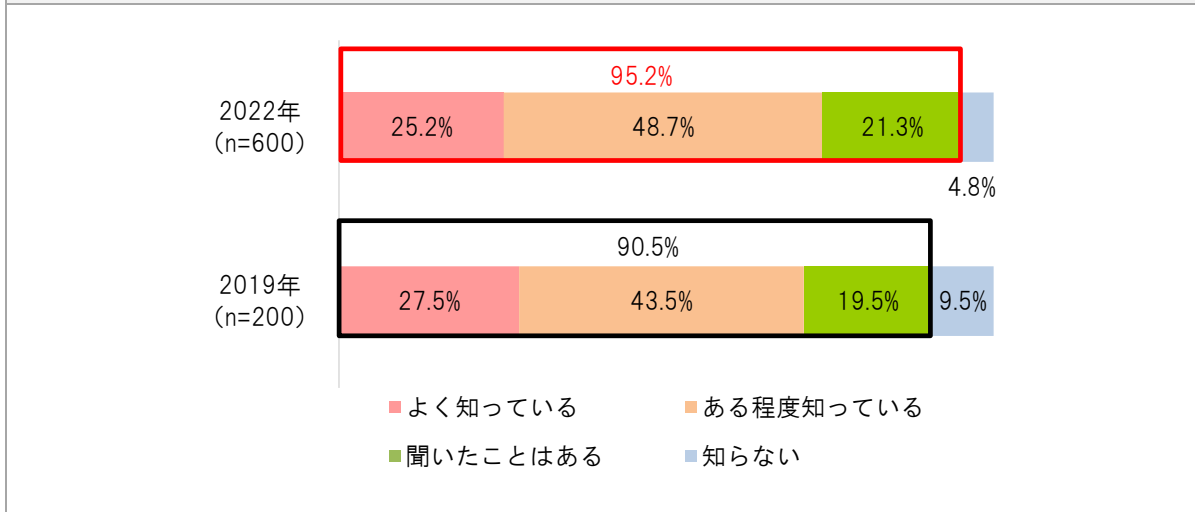
【別紙】

第2回“マイクロチップ”に関するアンケート調査 結果の詳細

■犬・猫飼育者におけるマイクロチップの認知率は95.2%

マイクロチップの認知率は「聞いたことはある」を含めると全体の95%超となった。2019年と比べて4.7ポイント増加した。

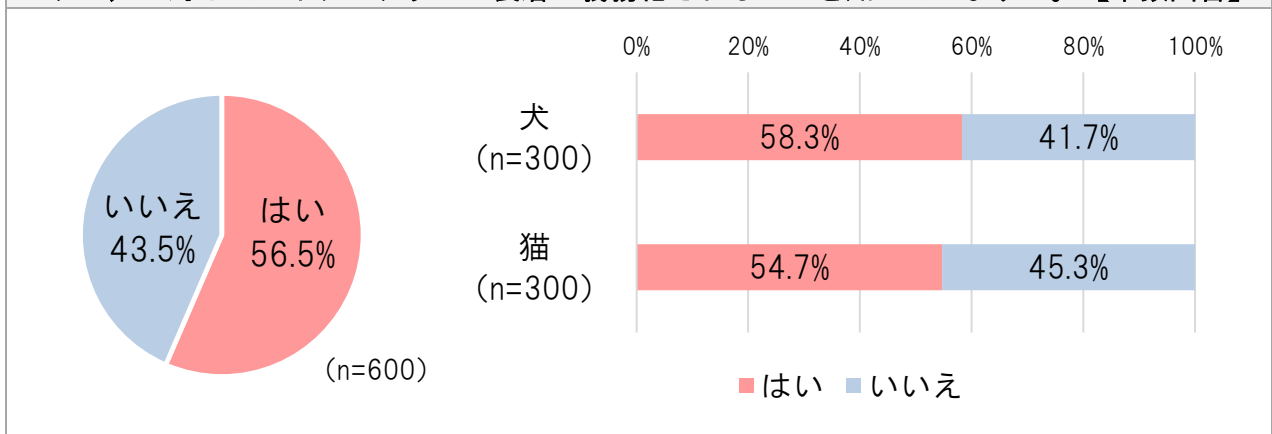
Q1 犬や猫の飼育において、飼い主を判別するための「マイクロチップ」というものがあります。マイクロチップについて知っていますか。【単数回答】



■ペット販売業者へのマイクロチップ装着義務化の認知率は56.5%

2022年6月に改正動物愛護管理法が施行されるにあたり、犬と猫の販売業者・繁殖業者に対してマイクロチップの装着が義務化されることを知っているか聞いたところ、56.5%が「知っている」と回答した。

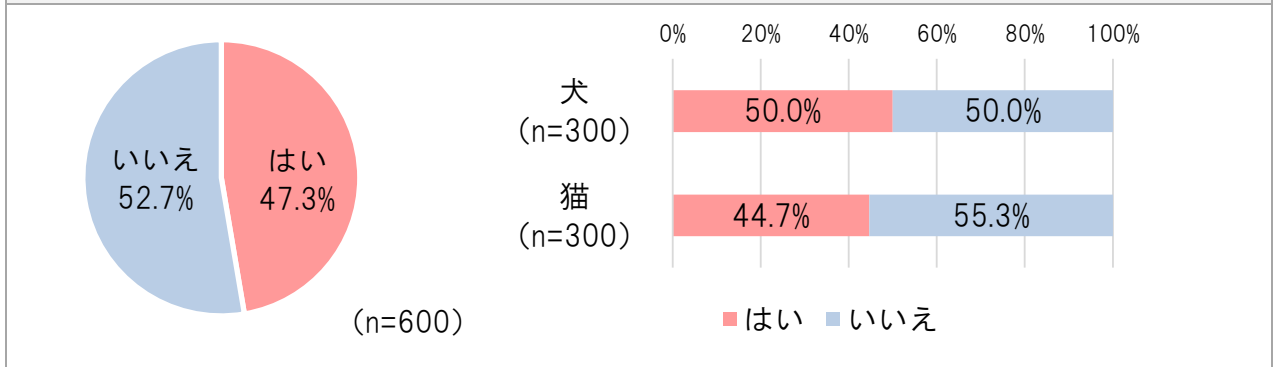
Q2 改正動物愛護管理法の施行により、2022年6月から犬や猫の販売業者・繁殖業者（ブリーダー）に対してマイクロチップの装着が義務化されることを知っていますか。【単数回答】



■一般飼育者へのマイクロチップ装着努力義務の認知率は47.3%

2022年6月に改正動物愛護管理法が施行されるにあたり、犬・猫の一般飼育者に対してはマイクロチップ装着が努力義務になることを知っているか聞いたところ、47.3%が「知っている」と回答した。

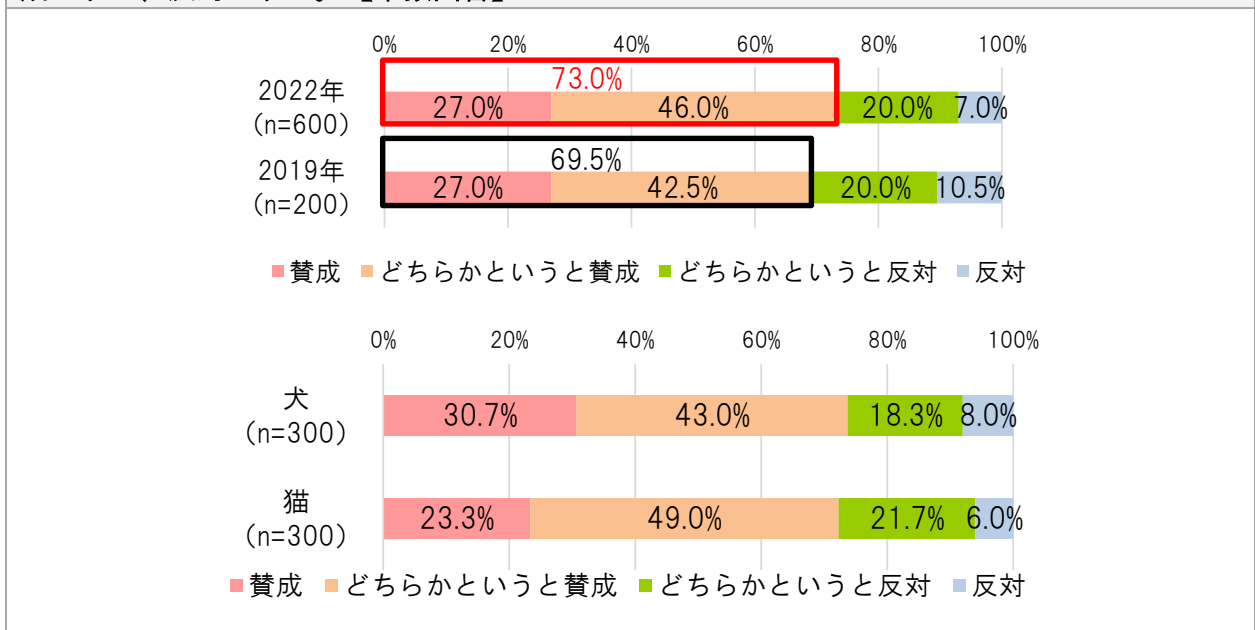
Q3 改正動物愛護管理法の施行により、すでにペットとして犬・猫を飼っている一般の飼育者にはマイクロチップの装着が努力義務として課せられますが、知っていますか。【単数回答】



■マイクロチップ装着義務化への賛成は73.0%

マイクロチップ装着義務化について賛成か反対か聞いたところ、「賛成 (27.0%)」「どちらかという」と賛成 (46.0%)」が合わせて73.0%となった。2019年と比べて3.5ポイント増加した。

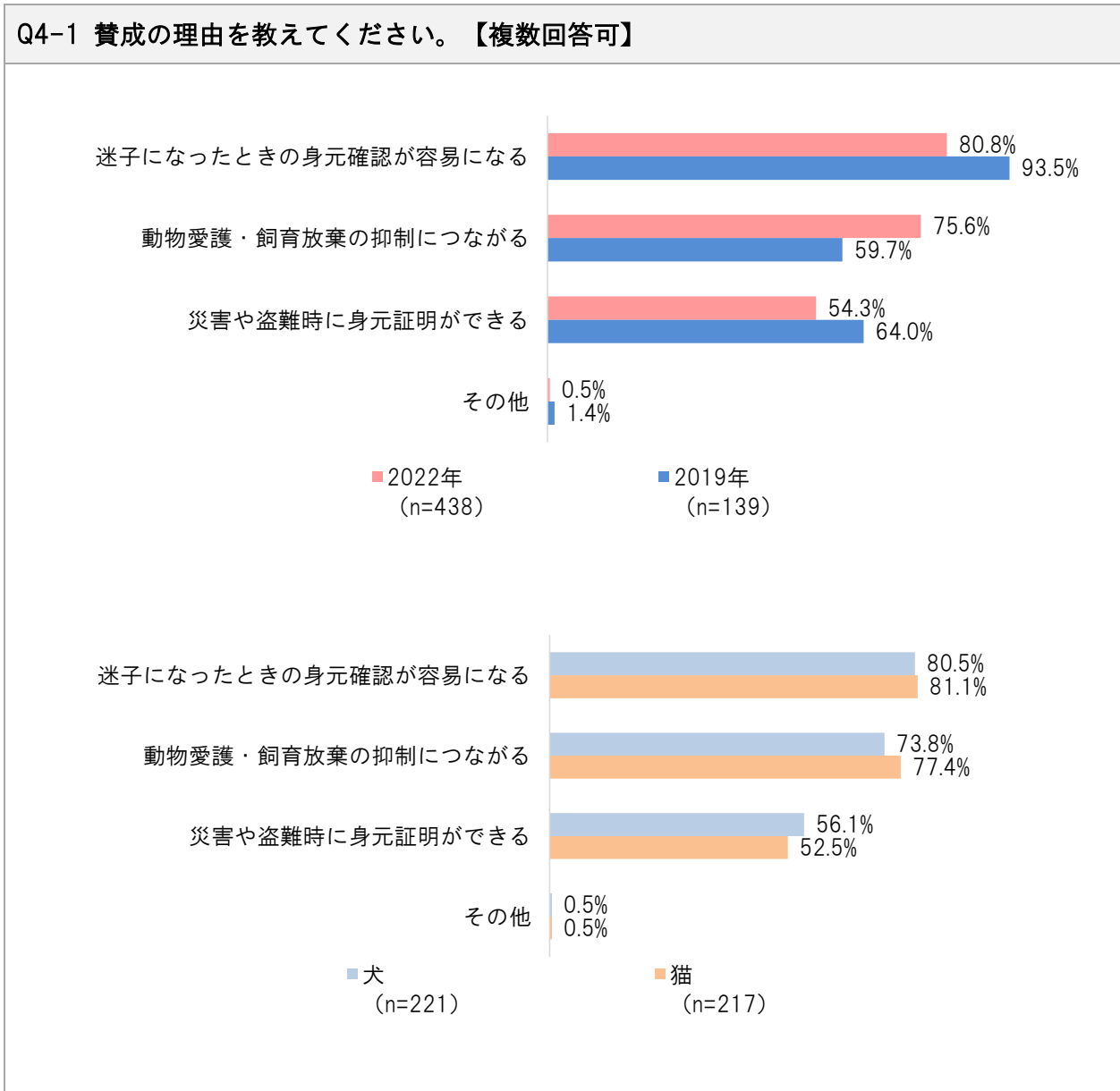
Q4 マイクロチップには飼い主の情報と照合できる15桁の番号が記録されています。直径2mm、全長12mm程度の円筒形で、獣医師が犬や猫の体に埋め込みます。費用は数千円~1万円程度で、飼い主を判別することができます。あなたはマイクロチップの装着義務化に賛成ですか、反対ですか。【単数回答】



■賛成の理由で最も多いのは「迷子になったときの身元確認が容易になる」80.8%  
 「動物愛護・飼育放棄の抑制につながる（75.6%）」は、2019年と比べて15.9ポイント増加

マイクロチップ装着義務化に「賛成（どちらかというを含む）」と回答した方に「賛成の理由」を聞いたところ、「迷子になったときの身元確認が容易になる（80.8%）」が最も多かった。

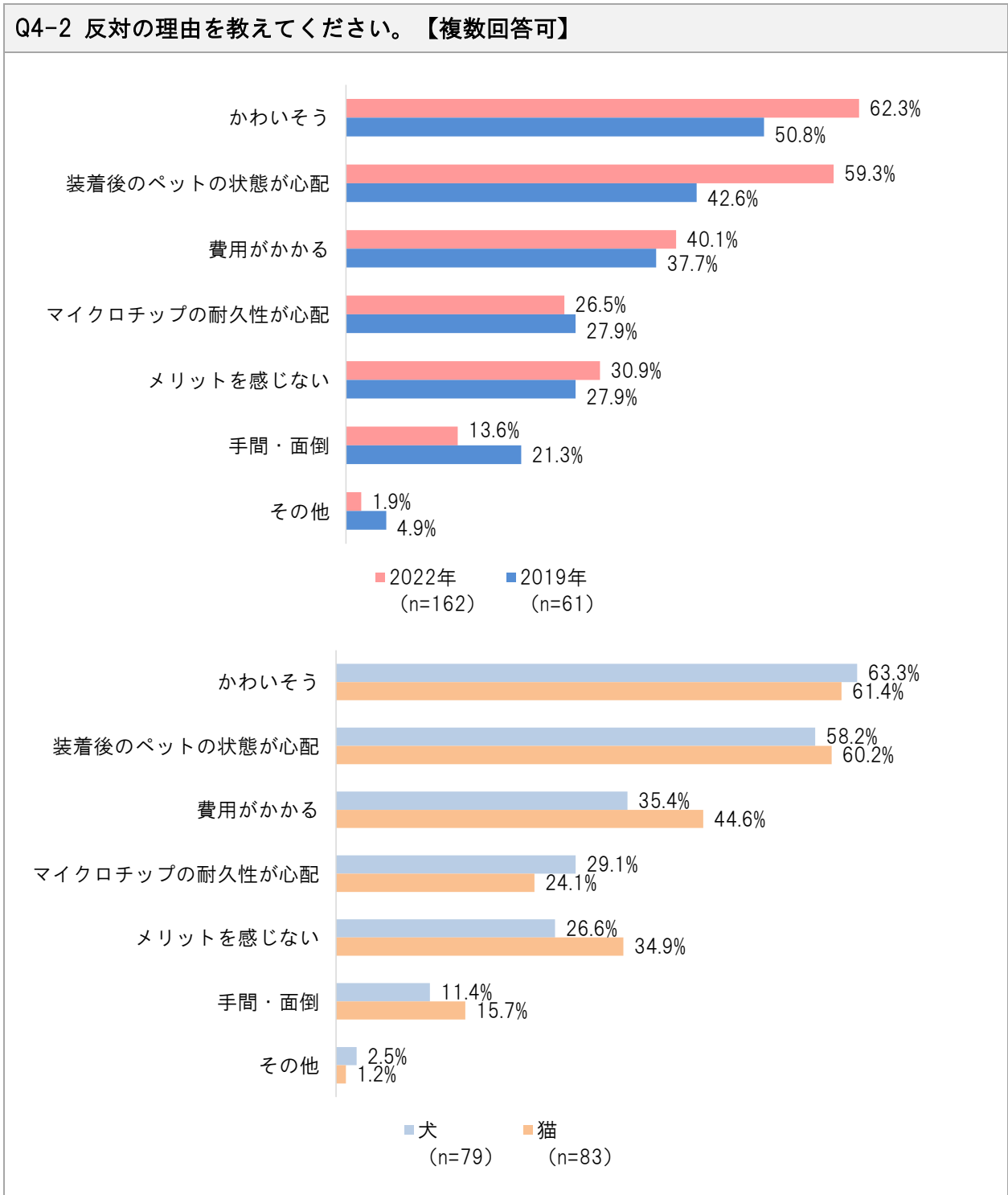
2019年と比べると、「動物愛護・飼育放棄の抑制につながる（75.6%）」が唯一増加し、動物愛護の意識が高まっている傾向がうかがえた。



■反対の理由で最も多いのは「かわいそう」62.3%

マイクロチップ装着義務化に「反対（どちらかということを含む）」と回答した方に「反対の理由」を聞いたところ、「かわいそう（62.3%）」が最も多かった。

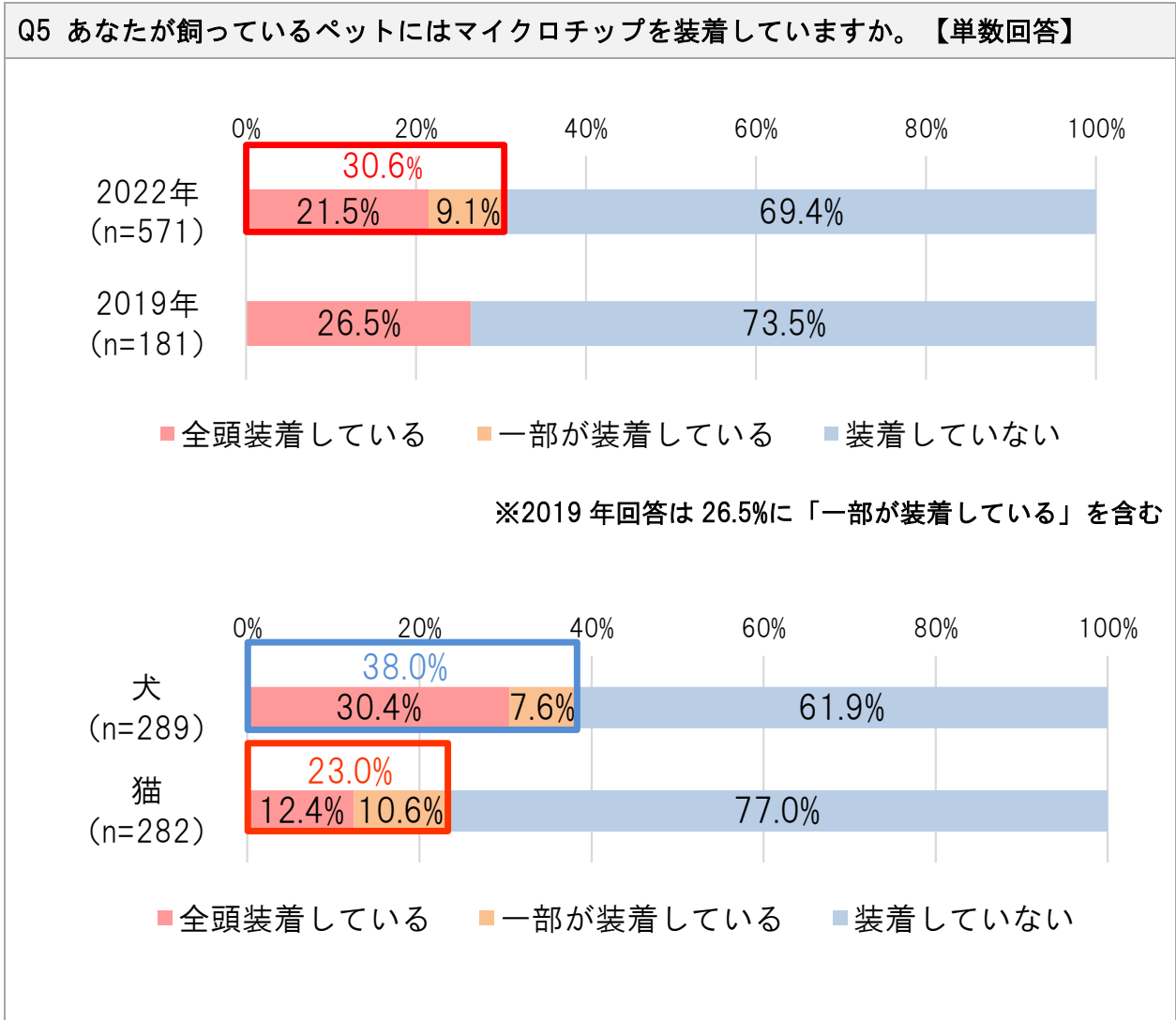
2019年と比べると、「かわいそう」「装着後のペットの状態が心配（59.3%）」がそれぞれ10ポイント以上増加する結果となった。



■現在マイクロチップを装着している飼育者は 30.6%

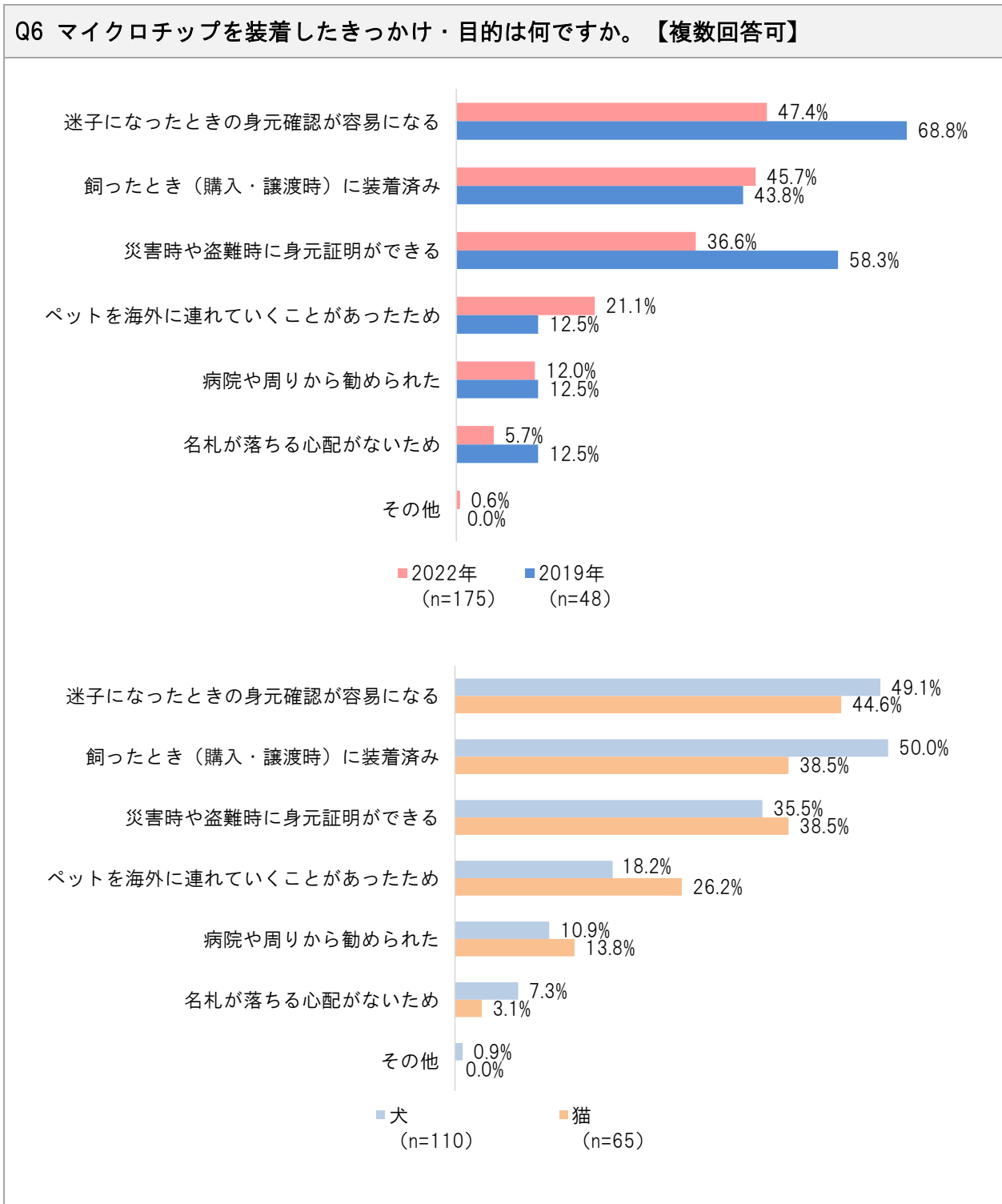
マイクロチップを認知している飼育者に、現在飼育しているペットへのマイクロチップの装着状況を聞いたところ、30.6%が「装着している（一部が装着しているを含む）」と回答した。

犬は猫と比べて装着率が 15 ポイント高い結果となった。



■装着のきっかけ・目的で最も多いのは「迷子になったときの身元確認が容易になる」47.4%  
「飼ったときにマイクロチップが装着されていた」は45.7%

マイクロチップを認知し、マイクロチップを装着していると回答した飼育者にきっかけを聞いたところ、「迷子になったときの身元確認が容易になる」47.4%が最も多かった。飼ったときに装着済みと回答した方は45.7%で、2019年より微増となった。

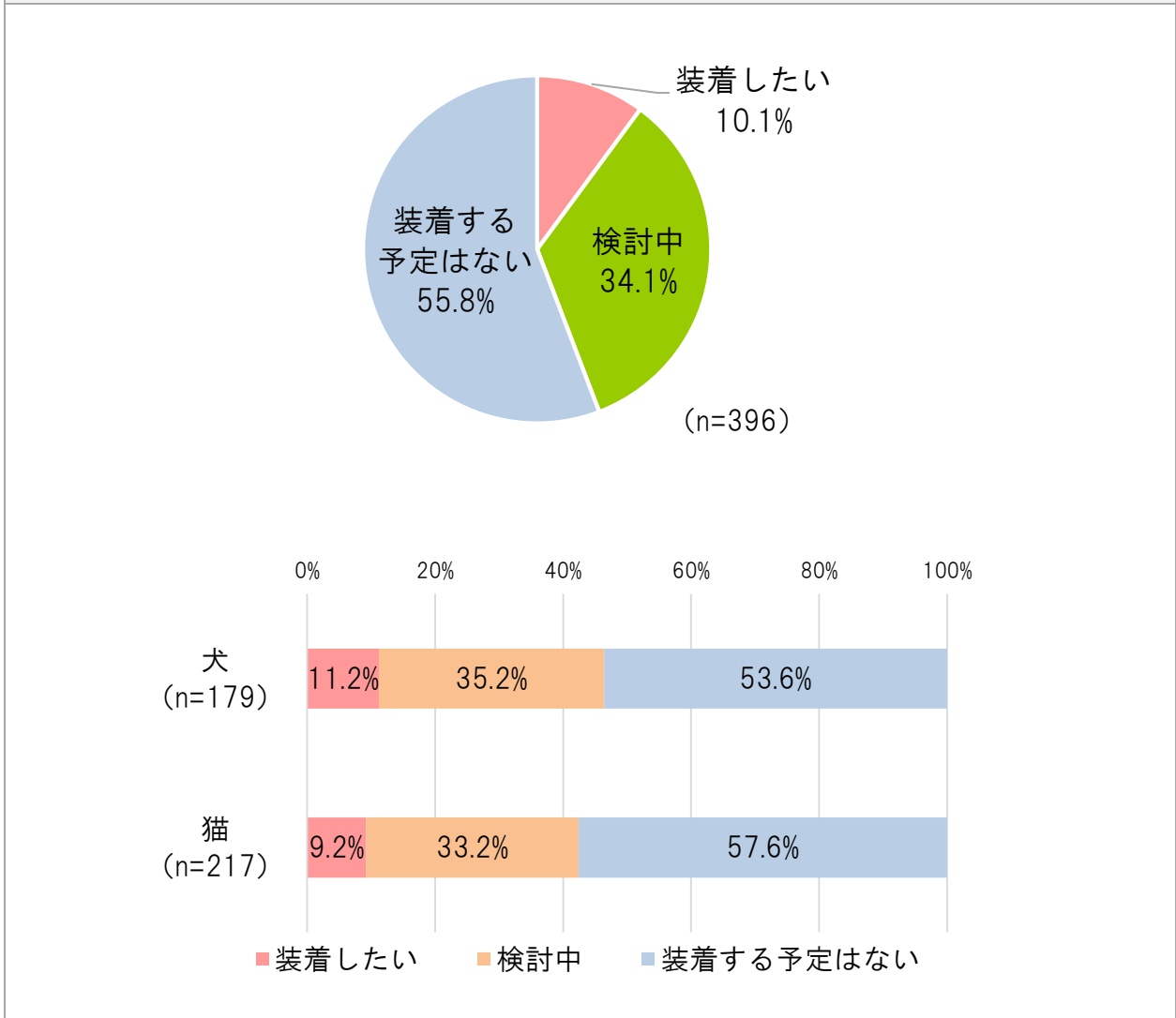




■ 今後マイクロチップの装着意向が明確にある飼育者は 10.1%

マイクロチップを認知しているが、マイクロチップを装着していないと回答した飼育者に今後の装着意思について聞いたところ、「装着したい」は 10.1%という結果となった。「装着する予定はない」は 55.8%で過半数を占めた。

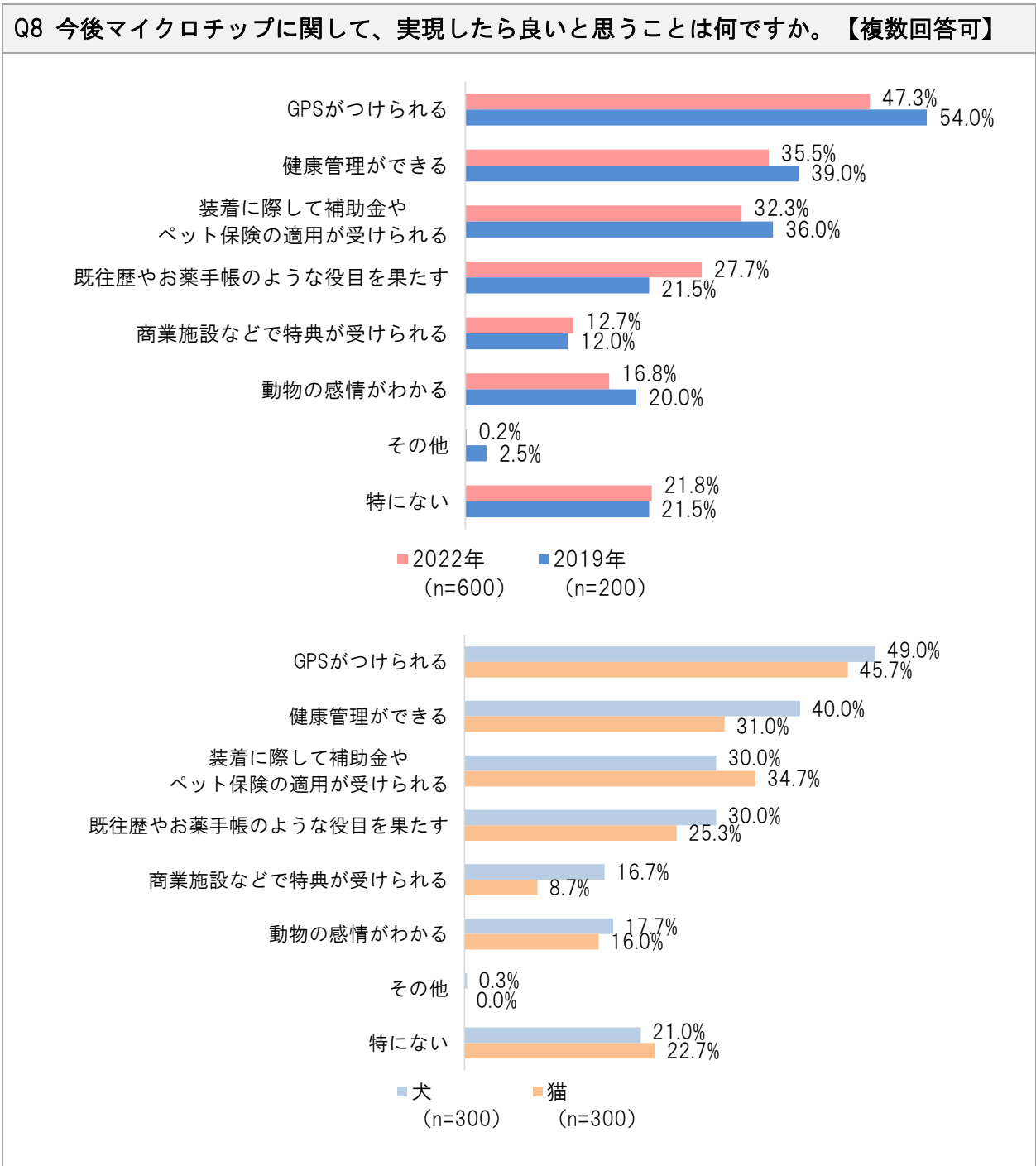
Q7 マイクロチップの装着が努力義務となりましたが、今後、装着される意向の有無を教えてください。【単数回答】



■ マイクロチップで実現したら良いと思うもの第1位は「GPSがつけられる」47.3%

マイクロチップで実現したら良いと思うものを聞いたところ、「GPSがつけられる（47.3%）」が最も多かった。「既往歴やお薬手帳のような役目を果たす（27.7%）」は2019年と比べて6.2ポイント増加した。

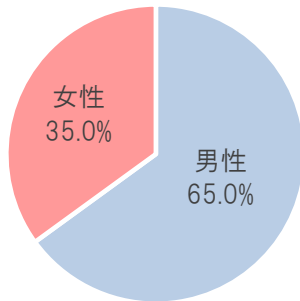
犬と猫の飼育者では、「健康管理ができる」の差が大きく、犬の飼育者は40.0%、猫の飼育者は31.0%となった。



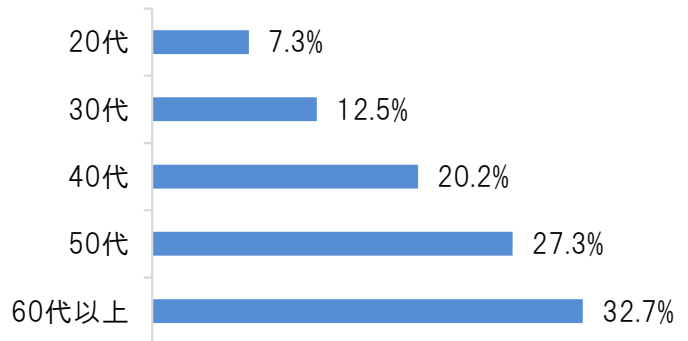
以上

■ アンケート回答者属性

【1】男女別の割合 (n=600)



【2】年齢別の割合 (n=600)



※本調査結果の百分率表示は小数点第2位で四捨五入を行っているため、合計しても100%にならない場合があります。